



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 ヒビノ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2469 URL <https://www.hibino.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員ヒビノGMC経営企画グループ長 (氏名) 大関 靖 TEL 03-3740-4391
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,273	12.6	△179	—	△35	—	△103	—
2023年3月期第1四半期	8,233	△8.1	△619	—	△343	—	△267	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 31百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △145百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△10.40	—
2023年3月期第1四半期	△27.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	34,174	9,324	26.2
2023年3月期	36,864	9,482	24.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 8,949百万円 2023年3月期 9,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	21,000	19.2	250	—	250	—	150	—	15.12
通期	46,500	10.9	1,750	42.3	1,700	21.4	1,000	64.6	100.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	10,265,480株	2023年3月期	10,265,480株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	342,687株	2023年3月期	342,687株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	9,922,793株	2023年3月期1Q	9,887,793株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されたことで経済社会活動の正常化が一段と進む中、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締め等に伴う海外景気の下振れリスクをはじめ、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響が懸念され、先行きが見通せない状況にあります。

このような状況のもと当社グループは、グループビジョン「世界のヒビノへ」の実現に向け、中期経営計画「ビジョン2025」（2023年3月期～2026年3月期）に取り組んでいます。本中期経営計画では、中期経営方針として「持続的成長を可能とする経営体質の構築」「健全経営の確立」の2つを掲げています。成長戦略である「ハニカム型経営」と「イノベーション」を加速させ、M&Aも活用しながら新領域を伸ばすとともに、適正な利益、財務の安定、人的資本の向上の好循環サイクルを確立していきます。

当第1四半期連結累計期間は、コロナ禍で抑制されてきたコンサート・イベント市場が急速なペースで回復、拡大し、コンサート・イベントサービス事業が好調に推移したことなどから、前年同四半期と比べ業績の大幅な改善を図ることができました。

これらの結果、売上高9,273百万円（前年同四半期比12.6%増）、営業損失179百万円（前年同四半期は営業損失619百万円）、経常損失35百万円（前年同四半期は経常損失343百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失103百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失267百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[販売施工事業]

販売施工事業は、主軸である業務用音響・映像機器等の輸入販売において顧客の設備投資意欲が回復し、特にコンサート・イベント市場で持ち直しが続いています。商品の入荷遅延の影響が依然残る中、一部案件で検収の遅れが発生したこともあり、売上高は前年同四半期を下回りました。一方、為替相場の円安進行等を受けて前連結会計年度より段階的に実施している販売価格改定の効果が出始めており、収益性は向上しています。

これらの結果、売上高3,847百万円（前年同四半期比1.4%減）、セグメント損失332百万円（前年同四半期はセグメント損失360百万円）となりました。

[建築音響施工事業]

建築音響施工事業は、放送局の建替やスタジオの新設、都市再開発に伴う文化・交流施設の新築計画が中長期的に控えていることから、良好な事業環境にあります。前連結会計年度から継続している再開発関連や大学施設等の建築音響案件を中心に、工事進捗が概ね計画通りに推移し、売上高は前年同四半期を上回り、セグメント利益は改善しました。

これらの結果、売上高1,648百万円（前年同四半期比25.9%増）、セグメント損失63百万円（前年同四半期はセグメント損失106百万円）となりました。

[コンサート・イベントサービス事業]

コンサート・イベントサービス事業は、コロナ禍の影響があった前年同四半期から大きく回復しました。主力のコンサート市場が活況を取り戻し、ドーム・アリーナツアーや海外アーティストの来日公演等が続々と開催される中、新規アーティストの案件を獲得できたこともあり、好調に推移しました。企業イベント、コンベンション等の市場においても、大規模な集客が可能となったことからイベント規模が拡大し、案件ごとの単価が上昇しました。バーチャルプロダクションについては、テレビドラマ等での継続的な役務提供により、安定的に売上を確保しています。さらに、5月に開催された大型国際会議において、国際メディアセンター及び各会場での共聴・映像・音響・照明システムの運用を担当したことが寄与し、売上高は第1四半期連結累計期間として過去最高となり、グループ全体の利益改善を牽引しました。

これらの結果、売上高3,777百万円（前年同四半期比24.9%増）、セグメント利益506百万円（前年同四半期比298.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は34,174百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,689百万円減少しました。これは商品及び製品並びに仕掛品が増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことが主な要因であります。

負債合計は24,849百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,532百万円減少しました。これは短期借入金、支払手形及び買掛金が減少したことが主な要因であります。

純資産合計は9,324百万円となり、前連結会計年度末と比べて157百万円減少しました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び株主配当により利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移しており、2023年5月12日に「2023年3月期決算短信」にて公表しました数値に変更はありません。なお、今後の業績動向を踏まえ、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,754,856	3,008,505
受取手形、売掛金及び契約資産	11,502,238	7,555,527
商品及び製品	6,174,492	6,736,606
仕掛品	845,845	1,116,193
原材料及び貯蔵品	143,646	161,210
その他	1,460,952	1,199,591
貸倒引当金	△38,451	△38,076
流動資産合計	22,843,581	19,739,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,737,274	2,793,822
減価償却累計額	△1,323,179	△1,347,565
建物及び構築物 (純額)	1,414,094	1,446,256
機械装置及び運搬具	16,412,823	16,480,620
減価償却累計額	△12,439,836	△12,405,279
機械装置及び運搬具 (純額)	3,972,986	4,075,341
工具、器具及び備品	2,434,723	2,474,057
減価償却累計額	△1,931,698	△1,974,096
工具、器具及び備品 (純額)	503,025	499,960
リース資産	1,542,779	1,570,025
減価償却累計額	△917,373	△962,468
リース資産 (純額)	625,405	607,556
その他	1,722,730	1,990,298
有形固定資産合計	8,238,243	8,619,414
無形固定資産		
のれん	1,703,079	1,649,168
その他	451,337	458,053
無形固定資産合計	2,154,417	2,107,222
投資その他の資産		
その他	3,667,991	3,749,362
貸倒引当金	△39,713	△41,026
投資その他の資産合計	3,628,278	3,708,335
固定資産合計	14,020,939	14,434,972
資産合計	36,864,520	34,174,531

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,627,179	3,020,713
短期借入金	6,725,036	5,894,588
1年内返済予定の長期借入金	4,492,859	4,255,238
リース債務	307,862	289,107
未払法人税等	206,019	76,017
賞与引当金	776,074	371,644
その他	2,510,942	2,630,194
流動負債合計	18,645,972	16,537,503
固定負債		
長期借入金	5,979,881	5,543,540
リース債務	332,044	330,496
退職給付に係る負債	2,165,613	2,174,080
資産除去債務	163,743	163,982
その他	94,914	100,054
固定負債合計	8,736,197	8,312,154
負債合計	27,382,169	24,849,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,748,655	1,748,655
資本剰余金	2,005,583	2,005,583
利益剰余金	5,176,709	4,924,642
自己株式	△241,432	△241,432
株主資本合計	8,689,516	8,437,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,670	59,312
繰延ヘッジ損益	△5,522	—
為替換算調整勘定	227,555	290,142
退職給付に係る調整累計額	165,879	162,384
その他の包括利益累計額合計	428,583	511,839
非支配株主持分	364,251	375,585
純資産合計	9,482,350	9,324,874
負債純資産合計	36,864,520	34,174,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	8,233,987	9,273,933
売上原価	5,664,535	5,950,694
売上総利益	2,569,452	3,323,239
販売費及び一般管理費	3,189,015	3,502,406
営業損失(△)	△619,563	△179,167
営業外収益		
受取利息	2,654	2,008
受取配当金	2,524	4,019
保険解約返戻金	124,209	3,864
為替差益	108,449	154,793
助成金収入	34,315	268
その他	31,773	33,718
営業外収益合計	303,925	198,672
営業外費用		
支払利息	20,828	41,723
支払手数料	5,616	3,095
その他	929	9,890
営業外費用合計	27,373	54,708
経常損失(△)	△343,011	△35,204
税金等調整前四半期純損失(△)	△343,011	△35,204
法人税等	△97,738	37,575
四半期純損失(△)	△245,272	△72,779
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,310	30,445
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△267,582	△103,225

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△245,272	△72,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,398	18,641
繰延ヘッジ損益	1,759	5,522
為替換算調整勘定	111,682	83,113
退職給付に係る調整額	△1,068	△3,494
その他の包括利益合計	99,975	103,782
四半期包括利益	△145,296	31,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△177,931	△19,969
非支配株主に係る四半期包括利益	32,635	50,971

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売施工事業	建築音響施工事業	コンサート・ イベントサービス 事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	3,901,255	1,309,009	3,023,721	8,233,987	—	8,233,987
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,579	8,986	29,734	46,300	△46,300	—
計	3,908,835	1,317,996	3,053,456	8,280,287	△46,300	8,233,987
セグメント利益 又は損失(△)	△360,569	△106,538	126,935	△340,173	△279,390	△619,563

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△279,390千円には、セグメント間取引消去59,912千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△339,302千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売施工事業	建築音響施工事業	コンサート・ イベントサービス 事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	3,847,660	1,648,324	3,777,948	9,273,933	—	9,273,933
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,328	550	13,334	28,213	△28,213	—
計	3,861,989	1,648,874	3,791,283	9,302,147	△28,213	9,273,933
セグメント利益 又は損失(△)	△332,141	△63,505	506,222	110,575	△289,743	△179,167

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△289,743千円には、セグメント間取引消去58,152千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△347,895千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。